

ホシガラスはハイマツの種子を主な食物にしています。しかし、種子を食べるだけではなく、貯食行動によってハイマツの種子を散布していることから、両者は共生関係にあるとされています。この共生関係は、どのような仕組みで成り立っているのでしょうか？ 高山帯で見られる、ホシガラスとハイマツの興味深い関係をご紹介します。



ホシガラスは、日本では亜高山から高山にかけて生育し、秋になるとハイマツ帯の上空をたくさんの個体が行き交います。ホシガラスの数少ない鳥類学者の1人、西さんのお話を、どうぞお楽しみに！



講師プロフィール：西 教生（にし のりお）
三重県生まれ。都留文科大学非常勤講師。
イワツバメとホシガラスの生活史を明らかにすることを研究テーマにしている。ホシガラスの調査は2009年から富士山で始め、2016年からは乗鞍岳でも実施している。

ホシガラスとハイマツの 共生関係

埋める・隠す
食べる・運ぶ



講師：西 教生 氏（都留文科大学非常勤講師）

10月13日（土）午後1時30分～3時

場所：飯田市美術博物館講堂 聴講無料（申込不要）



飯田市美術博物館

〒395-0034 長野県飯田市追手町 2-655-7

TEL 0265-22-8118 FAX 0265-22-5252 <http://www.iida-museum.org/>